

◇作品タイトル: 理想的な女の子

◇登場人物: 女1 男1 男2 男3



・問題の発生と解決

問題の発生

問題の解決

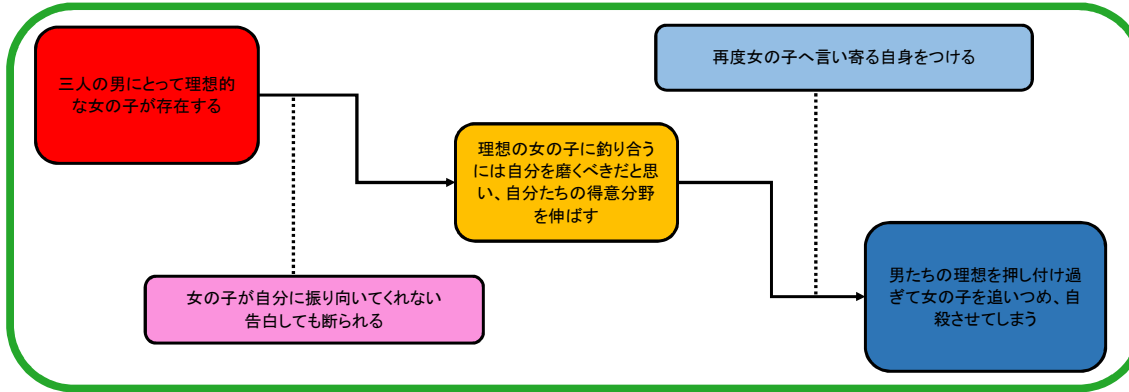
・きっかけ

きっかけ

・制限と解放

制限

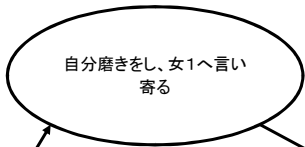
解放



・誰がやるか(キャラクター設定=行動)

・エピソード(行動)

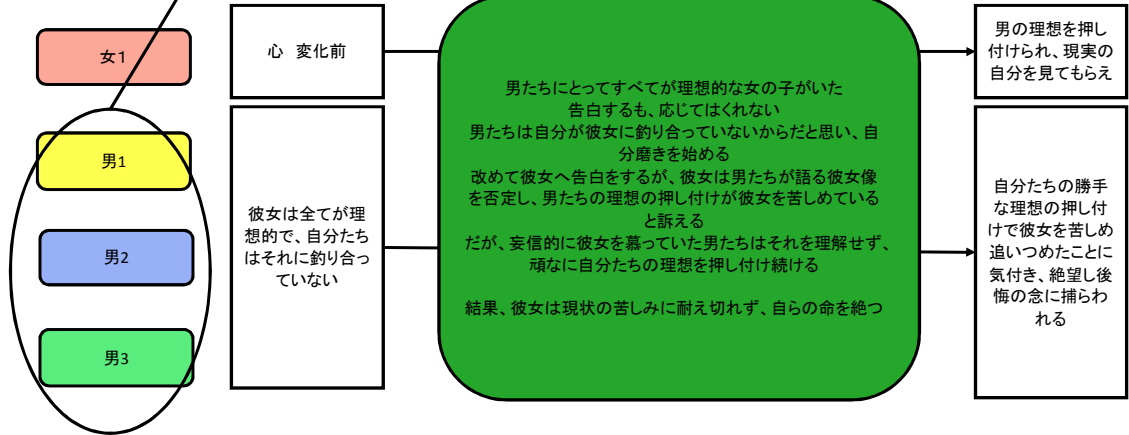
エピソード



・心の変化

誰が

どのように



プロローグ
モノローグ調で理想の女1を語る

男3人の自分磨き
エピソードをコミカルにテンポ良く

終盤
男達が妄信的な理想を押し付け、女はそれに苦しみ、突発的に自殺する

エピローグ
彼女の墓前
何年もたった後であり、毎年男たちは命日にここに来ていた

理想的な女の子がいる

振られる

自分磨き

再度告白をする

女に拒否される

女は自殺する

男1・2・3

告白する

自分が彼女と釣り合っていない

自分磨きをす

自分の理想である彼女であれば今の自分と付

再度告白をす

彼女が醜いはずがない全において素晴らし

女の言葉を否定して自身の理想の人格を押し付ける

自分勝手に女に理想を押し付け追いつめてし

毎年墓に参り、当時は振り返ってその罪を心に刻む

苛立

女1

男たちを振る

誰かと付き合うつもりはない

自分は醜い感情を持った人間であり、男たちの思うような素晴らしい

身勝手にひどい男たちを憎み、かつ、本当の自分を理解してほしい

自分のアイデンティティを確立できず、しようとも思わず、理解される努力も出来なかったのは自分の心の弱さだった
死ぬことしかできなかった自分が情けなく、そのため

自分が望んでるわけではないのに男達から言い寄られる、

男たちは自分に勘違いしてるだけだが、複数の男に言い寄られる女は同性に嫌われ、苛めを受

登校拒否になり、嫉妬で苛めてきた女たちと原因を作り出した勝手な男達を恨み蔑み、また、

誰にも理解されない、内面を覗ようとされない自分が孤独であることに気づき、絶望感に飲ま